

磁気テープ
利用のしおり
シリーズ

106

平成26年
商業統計メッシュデータ
ファイル利用のしおり

一般財団法人 経済産業調査会
統計情報部 (旧・経済統計情報センター)

〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目8番9号
(木挽館銀座ビル)

TEL (03) 3535-5348

FAX (03) 3535-5347

U R L <http://www.chosakai.or.jp/center/>

(2017.4.18)

<< 目 次 >>

1. 商業統計メッシュデータの提供について	1
2. 商業統計メッシュデータの概要	
(1) 集計表の種類	2
(2) 集計対象事業所	3
(3) 調査期日	3
(4) 集計方法	3
(5) 集計項目	3
(6) 集計区分	3
(7) 秘匿方法	4
3. メッシュデータ利用上の留意点	
(1) 26年メッシュと19年メッシュの違い	5
(2) 同定方法	5
(3) 日本測地系と世界測地系	6
4. ファイルの仕様	
1) 一括提供	
(1) CD-ROM (Write-once) の仕様	8
(2) フォーマット概略及びデータ表示方法	8
①コード部	9
②データ部	10
(3) レコードフォーマット	
①1kmメッシュ規模別表	11
②1kmメッシュ産業別表	13
③1kmメッシュ業態別表	15
④500mメッシュ集計表	18
2) 県別分割提供	19
[参考1] メッシュの画定方法及びメッシュコードのつけ方	20
[参考2] 業態分類の定義	24
[参考3] 全国メッシュのファイル分割地域区分図	25

1. 商業統計メッシュデータの提供について

経済産業省では、商業統計メッシュデータ（以下「商業メッシュ」と略記）に関し、昭和60年、63年、平成3年、6年、9年、11年、14年、16年、19年と作成し、その後28年度に「平成26年商業統計メッシュデータ」（以下「26年メッシュ」と略記）を作成し、28年末、経済省のウェブサイトにて小売業計のデータ（世界測地系の事業所数、年間販売額、売場面積）をメッシュ型リスト（PDF）で公表し、29年2月末に集計表（世界測地系）を公表しました。

なお、昭和54年、57年商業メッシュは、国土庁（現：国土交通省）の国土数値整備事業の一環として作成されました。

平成14年4月1日施行の測量法の改正により、「測量の基準」が日本測地系から世界測地系に移行され、これに伴い平成14年以降の商業メッシュは、両測地系で作成されています（昭和54年～平成11年までは日本測地系）。

商業メッシュに関し、当会では、昭和54年以降のデータをCD-ROM（Write-once）によりファイル提供しているほか、地図（市区町村界、河川、鉄道、道路等表示）を背景にしたメッシュデータの閲覧（無料）及びプリントアウト（10km（または5km）四方のマス目型で地図つき・地図ナシのリスト）による提供を常時行っています。

26年メッシュの提供方法と提供ファイルの種類は、次のとおりです。

1) 一括提供（日本測地系・世界測地系各30ファイル）

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
| ① 1kmメッシュ規模別表 | 計 6ファイル |
| ・ 全国メッシュ | その1（1次メッシュコード [※] 5338（甲府）以下） 1ファイル |
| ・ 〃 | その2（ 〃 5339（東京）以上） 〃 |
| ・ 県別メッシュ | 東日本（01 北海道～14 神奈川県） 1ファイル |
| ・ 〃 | 西日本（15 新潟県～47 沖縄県） 〃 |
| ・ 市区町村別メッシュ | 東日本（県区分は県別メッシュと同じ） 1ファイル |
| ・ 〃 | 西日本（ 〃 ） 〃 |
| ② 1kmメッシュ産業別表 | 計 6ファイル（内訳は規模別表と同じ） |
| ③ 1kmメッシュ業態別表 | 計 6ファイル（ 〃 ） |
| ④ 500mメッシュ集計表 | 計 12ファイル |
| 500mメッシュの集計対象地域が、平成14年から全地域に拡張され（11年以前は人口集中地区のみ）データ量が膨大になったため、以下の区分によりファイルを4分割 | |
| ・ 全国メッシュ | その1（1次メッシュコード [※] 5134（徳島）以下） 1ファイル |
| | その2（同 5135（和歌山）～5338（甲府）） 〃 |
| | その3（同 5339（東京）～5440（水戸）） 〃 |
| | その4（同 5536（七尾）以上） 〃 |

・ 県別メッシュ	北日本 (01 北海道 ~ 10 群馬県)	1 ファイル
	関東・中部 (11 埼玉県 ~ 20 長野県)	//
	東海・近畿 (21 岐阜県 ~ 30 和歌山県)	//
	中国・四国・九州 (31 鳥取県 ~ 47 沖縄県)	//

・ 市区町村別メッシュ 4 ファイル (地域区分は県別メッシュと同じ)

注1) 全国メッシュのファイル分割地域区分については、後述 [参考3] の地図参照

注2) 県別メッシュ及び市区町村別メッシュについて

「県別メッシュ」は、当該県に存在する1kmメッシュについて集計したもので、県境において1kmメッシュ内に2~3県がまたがっている場合には、当該県分を別々に集計している。

したがって、県境では同一メッシュコードに対し複数のレコードが存在する場合がありますが、複数の同一メッシュコードのデータ項目を加算すると全国メッシュと同じ結果になる(ただし、秘匿発生メッシュについては、加算不可)。

「市区町村別メッシュ」も、同様に市区町村境界を加味して集計している。

2) 県別分割提供 (4表×47ファイル)

① 1kmメッシュ規模別表 ② 1kmメッシュ産業別表 ③ 1kmメッシュ業態別表 ④ 500mメッシュ集計表について、一括提供の県別メッシュファイルをそれぞれ各県ごとに分割し、各表・各県ごとに1ファイルにしたものです。

2. 商業統計メッシュデータの概要

(1) 集計表の種類

① 1kmメッシュ規模別表

卸売業、小売業の事業所を対象に、卸売業計の事業所数、従業者数、年間販売額のほか、小売業に関する事業所数、年間販売額、売場面積等について、1kmメッシュごとに、従業者規模別、年間販売額階級別、業種分類別(買回品、最寄品等の4区分)等の各種規模別に集計したもの

② 1kmメッシュ産業別表

小売業の事業所を対象に、事業所数、年間販売額、売場面積について、1kmメッシュごとに産業分類中・小分類別に集計したもの

③ 1kmメッシュ業態別表 (平成6年から)

小売業の事業所を対象に、事業所数、年間販売額、売場面積について、1kmメッシュごとに百貨店、スーパー、専門店等の業態別に集計したもの

④ 500mメッシュ集計表

小売業の事業所を対象に事業所数、年間販売額等について、500mメッシュごとに産業中分類別、各種規模別、業種別、業態別(大分類)に集計したもの

(2) 集計対象事業所

平成26年商業統計調査の調査対象事業所のうち、管理、補助的経済活動を行う事業所等を除いた卸売業約264千件(規模別表のみ)、小売業約775千件の事業所がメッシュ集計対象

(3) 調査期日

平成26年7月1日現在

(4) 集計方法

個票データと同定テーブル(事業所ごとの経緯度・メッシュコード情報)をもとに事業所数、従業者数、年間販売額等の項目について、各表ごとに市区町村別・1kmメッシュコード別に集計した「市区町村別メッシュ」、県別・1kmメッシュコード別に集計した「都道府県別メッシュ」及び1kmメッシュコードごとに集計した「全国メッシュ」を作成し、これらの集計結果に秘匿処理を行った(500mメッシュ集計表についても同様に処理)。

(5) 集計項目

事業所数、従業者数、年間販売額、売場面積(小売業のみ)

(26年メッシュでは、「来客用駐車場収容台数」は集計対象外でゼロ表示)

(6) 集計区分

①産業分類(産業別表、500m集計表での表章)

平成19年11月に改定された日本標準産業分類「大分類I卸売業、小売業」の卸売業計と小売業の中・小分類を使用(19年メッシュとは産業分類が異なる)。

②業種分類(規模別表、500m集計表での表章)

産業小分類を次の4区分に組み替えたもの

◎買回品業種 … 買物をする場合、比較的遠くまで出かけて行って品質や価格の良し悪しを見回って購入するもので、以下の産業分類が該当

571 呉服・服地・寝具小売業	601 家具・建具・畳小売業
572 男子服小売業	602 じゅう器小売業
573 婦人・子供服小売業	604 農耕用品小売業
574 靴・履物小売業	606 書籍・文房具小売業
579 その他の織物・衣服・身の回り品小売業	607 スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業
592 自転車小売業	608 写真機・時計・眼鏡小売業
593 機械器具小売業(自動車、自転車を除く)	609 他に分類されない小売業

◎最寄品業種 … 日常よく家庭で食べたり使ったりする食料品や雑貨品をいい比較的近くの店で購入するもので、以下の産業分類が該当

581 各種食料品小売業	585 酒小売業
582 野菜・果実小売業	586 菓子・パン小売業
583 食肉小売業	589 その他の飲食料品小売業
584 鮮魚小売業	603 医薬品・化粧品小売業

◎各種商品小売業 … 561 百貨店、総合スーパー
569 その他の各種商品小売業

◎その他の業種 … 591 自動車小売業 612 自動販売機による小売業
605 燃料小売業 619 その他の無店舗小売業
611 通信販売・訪問販売小売業

③業態分類（業態別表、500m集計表での表章）

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 百貨店 | 6. その他のスーパー |
| 1 大型百貨店 | うち各種商品取扱店 |
| 2 その他の百貨店 | 7. 専門店 |
| 2. 総合スーパー | 1 衣料品専門店 |
| 1 大型総合スーパー | 2 食料品専門店 |
| 2 中型総合スーパー | 3 住関連専門店 |
| 3. 専門スーパー | 8. 家電大型専門店（※） |
| 1 衣料品スーパー | 9. 中心店 |
| 2 食料品スーパー | 1 衣料品中心店 |
| 3 住関連スーパー | 2 食料品中心店 |
| うちホームセンター | 3 住関連中心店 |
| 4. コンビニエンス・ストア | 10. その他の小売店 |
| うち終日営業店 | うち各種商品取扱店 |
| 5. 広義ドラッグストア（※） | 11. 無店舗販売（※） |
| うちドラッグストア（▲） | うち通信・カタログ販売、インターネット販売（※） |

注）19年メッシュとは一部異なる（「※」は新設区分、「▲」は定義変更）。
業態分類の定義については、後述の〔参考2〕を参照

（7）秘匿方法

1つのメッシュ内の事業所数が1または2の場合、個々の申告者の秘密が漏れるおそれがあるため、事業所数と従業者数（平成11年から秘匿対象外）以外のデータを秘匿します（単純秘匿）。

また、それぞれの集計表について、1レコード内で従業者規模別、産業分類別等各種分類区分別の表章をしている場合、合計の数値から他の未秘匿の分類区分の数値を差し引くことにより秘匿された分類区分の数値がわかる場合には、もう1箇所お供秘匿します（関連秘匿）。

さらに全国メッシュと県別メッシュ、県別メッシュと市区町村別メッシュ間でもお供秘匿が行われました。

秘匿項目は、ファイルでは、これまでのブランク表示ではなく、新設フラグエリアに「X」を表示しています（フラグエリアについては10頁参照）。

なお、単純秘匿、お供秘匿ともに該当数値なし（次頁参照、フラグエリアに「-」表示）は、秘匿対象外です。

注) お供秘匿の優先順位は、表により異なります(規模別表は、従業者規模別等各種規模区分の未秘匿区分のうち事業所数最少の区分をお供秘匿など)。

3. メッシュデータ利用上の留意点

メッシュデータをご利用(特に時系列でご利用)の際は、以下の点にご留意ください。

(1) 26年メッシュと19年メッシュの違い

7年間の調査間隔による集計対象数の大幅減、産業分類の改定、業態分類の一部変更、同定方法の違いのほか、26年メッシュでは、秘匿の関係上、年間販売額、売場面積の単位切り上げ、非公表項目の設定が行われたため、時系列比較は難しいかと思われます。

※単位の切り上げ 年間販売額 万円→百万円(500mメッシュは千万円)
売場面積 m^2 →百 m^2 (同 km^2)

ただし、1kmメッシュの3表に関しては、小売業計のみこれまで同様年間販売額は万円、売場面積は m^2 単位です。

なお、単位の切り上げによる単位未満は、ファイルでは「0」表示です。

※非公表項目

秘匿の結果、情報開示箇所が3次メッシュ区域総数の2%に満たない等の場合に当該項目(列)全体が非公表となったため(後述のフォーマットで斜線表示の項目)、ファイルのデータ項目にフラグエリアを新設し、非公表項目のフラグエリアは「N」を表示しています。

また、今回の26年メッシュでは、集計結果がゼロの場合には、事業所数、従業者数、年間販売額、売場面積の項目に関わりなく該当数値なしの扱いとなり、ファイルではフラグエリアに「-」を表示しています(19年メッシュでは、集計値ゼロはゼロ表示で、売場面積と駐車場収容台数にのみ「該当数値なし」が存在)。

(2) 同定方法

26年メッシュの同定方法は、これまでとは違い、国土交通省の「位置参照情報ダウンロードサービス」を利用し、各事業所の所在地情報を基に街区単位の経緯度(世界測地系)を取得し、これを日本測地系経緯度に変換し、さらにそれぞれの経緯度からメッシュコードを算出したとのことです。

ちなみに過去年の日本測地系に関する同定方法(メッシュコード付与方法)は、以下のとおりです。

①平成9年以前のメッシュ

平成9年以前のメッシュは、いずれも従業者30人以上の商店(全商店の約3%)に関しては、個別同定(住所、住所ファイル、地図等により個々にメッシュコード付与)を行い、従業者30人未満の商店に関しては、調査区同定を行った。

注) 調査区同定

調査区同定テーブル(調査区とメッシュコードとの対応テーブル)をもとに電算処理により調査区内の事業所を対応する1または複数個のメッシュに機械的に振り分けてメッシュコードを付ける方法

② 11年メッシュ

住所ファイルを利用し、電算処理により従業者規模に関わらず全商店の約83%について住所ファイルを元に個別同定を行い、住所ファイル未整備地域や一部住所の不備等により個別同定不能な商店については、調査区同定を行った。

③ 14年メッシュ

平成14年商業統計対象事業所のうち、総務省所管の「平成13年事業所・企業統計調査」と同一対象事業所（約84%）については、同調査の「同定データファイル」（事業所ごとにメッシュコード（日本系、世界系）を付与したもの）のメッシュコードを採用した。

残りの新規事業所等（11年からの継続事業所を含む）については、出来る限り個別同定（住所情報から経緯度を取得し、さらに経緯度をメッシュコードに変換）を行い、住所不備等により経緯度情報取得不能の事業所のうち、従業者30人以上の事業所は、手作業による個別同定を行い、30人未満の事業所は、調査区同定を行った。

④ 16年メッシュ

平成14年商業統計調査対象の全事業所に関し、民間の住所辞書と住所情報により経緯度を取得し、さらに経緯度をメッシュコードに変換する個別同定処理を行った。

⑤ 19年メッシュ

平成16年調査からの継続事業所（約76%）については、16年と同一メッシュコードを付与し、新規事業所（約24%）については、各事業所の住所情報を元に個別同定（住所情報から経緯度を取得し、さらに経緯度をメッシュコードに変換）を行った。

(3) 日本測地系と世界測地系

平成14年に測量法が改正され（4月1日施行）、「測量の基準」が、日本測地系から世界測地系に移行しました。

これにより、14年以降のメッシュに関しては、両測地系のメッシュデータが作成されています。

【世界測地系メッシュコードについて】

14年メッシュに関しては、総務省所管の「平成13年事業所・企業統計調査」と同一事業所は、13年同定データファイルの世界測地系メッシュコードをそのまま採用し、14年新規事業所のうち個別同定分は、日本測地系の経緯度を世界測地系経緯度に変換し（国土地理院提供の自動変換プログラム「TKY2JGD」を使用）、これをメッシュコード（世界測地系）に変換した。

調査区同定分は、日本測地系メッシュコードの中心点経緯度を世界測地系経緯度に変換し、これをメッシュコード（世界測地系）に変換した。

16年メッシュについては、個別同定により取得した日本測地系経緯度を14年同様の方法により世界測地系経緯度に変換し、メッシュコード（世界測地系）に変換した。

19年メッシュは、継続事業所は16年の世界測地系メッシュコードをそのまま採用し、新規分については16年同様の処理を行った。

[参考] 日本測地系と世界測地系（国土地理院のホームページより抜粋）

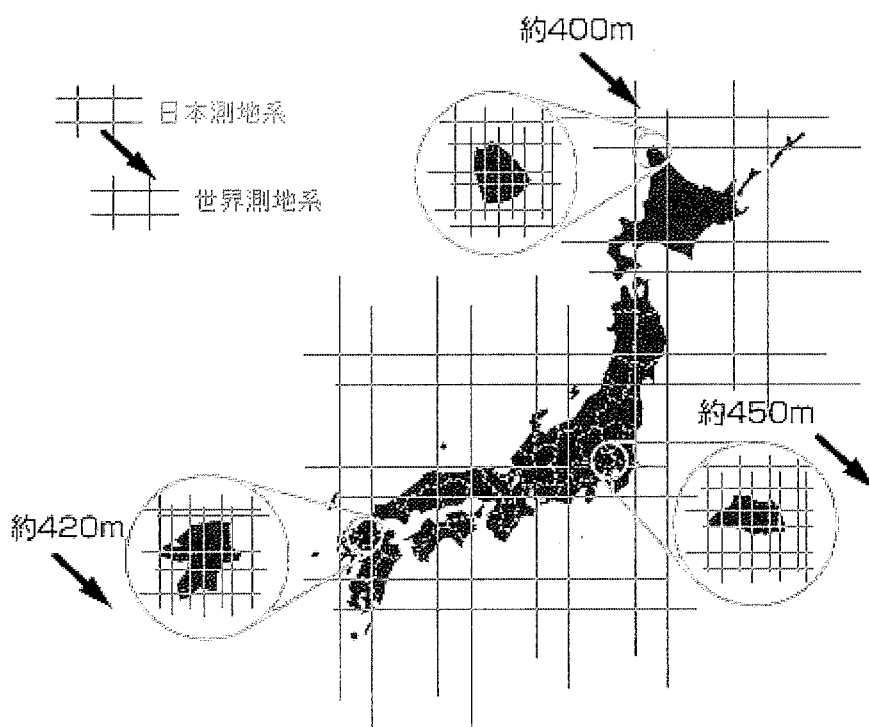
（日本測地系）

我が国では、改正測量法の施行前は、明治時代に採用したベッセル楕円体を使用し、東京天文台の経度・緯度が、天文観測により決定され、この位置が現在の日本経緯度原点となっている。

（世界測地系）

世界測地系とは、VLBI（超長基線電波干渉計 Very Long Baseline Interferometry）や人工衛星を用いた観測によって明らかとなった地球の正確な形状と大きさに基づき、世界的な整合性を持たせて構築された経度・緯度の測定の基準で、国際的に定められている測地基準系をいう。

日本測地系と世界測地系の違い



例えば、日本測地系の経緯度で表されている地点を、世界測地系の経緯度で表わすと、東京付近では、経度が約 -12 秒、緯度が約 $+12$ 秒変化します。

これを距離に換算すると、北西方向へ約 450 mずれることに相当します。

4. ファイルの仕様

1) 一括提供

(1) CD-ROM (Write-once) の仕様

◎物理フォーマット；ISO9660

◎使用コード；ASCIIコード

◎レコードサイズ； () 内は19年メッシュ

・1kmメッシュ規模別表 … 690バイト (19年と同じ)

・1kmメッシュ産業別表 … 1,130バイト (1,100バイト)

・1kmメッシュ業態別表 … 980バイト (860バイト)

・500mメッシュ集計表 … 810バイト (780バイト)

(固定長ファイル) 各表のレコードサイズ + 2バイト(復帰改行)の固定長

ファイル名は「*****.txt」

(CSVファイル) フォーマットの各項目ごとにカンマで区切った可変長

ファイル名は「*****.csv」

◎ソート順位；4表とも、以下のコードによる昇順ソート

・全国メッシュ …………… 1.メッシュコード (8~16カラム)

・県別メッシュ …………… 1.都道府県コード (18~19カラム)

2.メッシュコード (8~16カラム)

・市区町村別メッシュ … 1.都道府県コード (18~19カラム)

2.市区町村コード (20~22カラム)

3.メッシュコード (8~16カラム)

(2) フォーマット概略及びデータ表示方法

コード部																
統計名 S	統計年	表区分	地域区分	メッシュコード				メ ッ シ ュ ベ ル	当該メッシュにかかる県・市区町村(6組)						測地系	
				一 次	二 次	三 次	四 次		県	市 区 町 村	市 区 町 村	市 区 町 村	市 区 町 村	市 区 町 村		市 区 町 村
(1)	(2)	(2)	(2)	(4)	(2)	(2)	(1)	(1)	(2)	(3)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(3)
1	2	4	6	8	12	14	16	17	18	20	23	28	33	38	43	48

データ部				
D-1	D-2	D-3	D-n	
(10)	(10)	(10)	(10)	
51	61	71		

n；データ項目数

(規模別表) n = 64

(実データは63)

(産業別表) n = 108

(業態別表) n = 93

(500mメッシュ) n = 76

(実データは75)

注1) ()内の数字は、固定長ファイル上の各項目ごとのバイト数を示し、下段の数字は、各項目の左端の位置を示す。

注2) CSVファイルは、各項目(上記フォーマットの縦罫)ごとに半角カンマ「,」で区切った可変長ファイル

①コード部

- ・統計名 …… S (商業統計メッシュデータを示す。)
(1カラム)
- ・統計年 …… 商業統計調査年を元号(26)で表示
(2~3カラム)
- ・表区分 …… 集計表の種類を表示
(4~5カラム)
 - 01 ; 1 kmメッシュ規模別表
 - 02 ; 1 kmメッシュ産業別表
 - 03 ; 500mメッシュ集計表
 - 04 ; 1 kmメッシュ業態別表 (平成6年から)
- ・地域区分 …… メッシュの集計区分を表示
(6~7カラム)
 - 01 ; 全国メッシュ
 - 02 ; 県別メッシュ
 - 03 ; 市区町村別メッシュ
- ・メッシュコード[※] …… 4次メッシュまでの9桁からなるメッシュコード
(8~16カラム) (1 kmメッシュの場合は8桁までで9桁目は「ブランク」表示)
- ・メッシュレベル …… 何次メッシュによる集計かを表示
(17カラム)
 - 3 ; 3次メッシュの集計表(1 kmメッシュの3表)
 - 4 ; 4次メッシュの集計表(500m集計表)
- ・当該メッシュにかかる県・市区町村 …… 当該メッシュ内の集計対象となっている都道府県、市区町村コードを最高6組まで表示
(18~47カラム) (6組未満の場合、残りのエリアは「ブランク」表示)
- ・測地系区分 …… いずれの測地系かを表示
(48~50カラム)
 - △△△ ; 日本測地系
 - △△W ; 世界測地系 (△ ; ブランク)

CSVファイルのコード部表示方法

コード部の各項目は、ダブルコーテーションで括った文字扱いの表示です。
メッシュコード欄は、メッシュ区分(一次、二次など)ごとにカンマで区切り、当該メッシュにかかる県・市区町村欄は、6組とも県、市区町村でそれぞれ区切り、ブランクの場合は、区切りのカンマのみの表示です。

(表示例) 26年規模別表・全国メッシュ(世界測地系)のコード部
"S","26","01","01","5339","01","37"," ","3","14","211",,,,,,,,,,,,,," W",

②データ部

データ部で設定されているデータ項目数は、年・表により異なり、26年メッシュ（19年メッシュ）の規模別表は64（64）項目、産業別表は108（105）項目、業態別表は93（81）項目、500mメッシュ集計表は76（73）項目です。

【データの表示方法】

固定長ファイル

各データ項目は、これまで同様10バイトですが、26年メッシュでは、非公表項目の発生等により、これまでのデータ表示方法を変更し、先頭の1バイト目に秘匿（X）等を表示するフラグエリアを新設し、以下の9バイトを数値エリアとしました。

データ1項目（10バイト）

	数値エリア（9バイト）
--	-------------

↓

フラグエリア（1バイト）

「ブランク」	…	公表データ
「-」	…	該当数値なし
「X」	…	秘匿
「N」	…	非公表項目
「0」	…	集計対象外の「駐車場収容台数」（オールゼロ）

数値エリアは、右づめ・前ゼロの表示です（19年以前は10バイトのエリアに右づめ・前ブランク表示）。

データは、すべて正のデータです。

[表示例]

公表データの場合	<table border="1"><tr><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 90px;">123456789</td></tr></table>		123456789
	123456789		
（単位未満）	<table border="1"><tr><td style="width: 10px;"></td><td style="width: 90px;">000000000</td></tr></table>		000000000
	000000000		
（該当数値なし）	<table border="1"><tr><td style="width: 10px;">-</td><td style="width: 90px;">000000000</td></tr></table>	-	000000000
-	000000000		
秘匿の場合	<table border="1"><tr><td style="width: 10px;">X</td><td style="width: 90px;">000000000</td></tr></table>	X	000000000
X	000000000		
非公表項目	<table border="1"><tr><td style="width: 10px;">N</td><td style="width: 90px;">000000000</td></tr></table>	N	000000000
N	000000000		
集計対象外項目（オールゼロ）	<table border="1"><tr><td style="width: 10px;">0</td><td style="width: 90px;">000000000</td></tr></table>	0	000000000
0	000000000		

CSVファイル

フォーマットの各項目ごとに半角カンマで区切り、データ1項目は、前ゼロをはずした可変長の数値かダブルコーテーションでくくった文字（“-”、“X”等）のいずれかの表示です。

データ部の各項目を半角カンマ「,」で区切り、数値データは前ゼロをはずした数値のみ、秘匿は“X”、「該当数値なし」は“-”、非公表項目は“N”、集計対象外項目（駐車場収容台数）は“0”表示です。

(表示例) 26年規模別表・全国メッシュ（世界測地系）のデータ部

4, 42, 1810, 29, 273, 557063, 1624, "0", 7, "X", 20, 3423, 2, "N", "-", "N", "-", "-", "-", 2, "X",
 ↑小売計 万円 m² ↑集計対象外駐車場収容台数
 "X", 10, "X", "X", 17, 5043, 12, 3, 428, 0, 19, 2139, 7, 7, 3004, 10, "-", "-", "-", "-", "N", "N",
 ↑単位未満
 "-", "N", "N", 2, 2, 24, 1, "-", "-", 10, "X", 6, 18, 3299, 10, "-", "N", "N", 1, "N", "N"

(3) レコードフォーマット

① 1kmメッシュ規模別表（690バイト）

A：事業所数 B：年間販売額（百万円） C：売場面積（百m²）
 ※全国メッシュの小売業計のみこれまでと同じ万円、m²単位

S	統計年	表区分	地域区分	メッシュコード	メッシュレベル	当該メッシュにかかると道府県市区町村コード	測地系区分	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6	D-7
								卸売業計			小売業計			
								事業所数	従業者数	年間販売額	事業所数	従業者数	年間販売額	売場面積
(1)	(2)	(2)	(2)	(9)	(1)	(5)×6	(3)							
1	2	4	6	8	17	18	48	51	61	71	81	91	101	111

(下段の数字は、各項目の左端の位置を表示)

D-8	D-9	D-10	D-11	D-12	D-13	D-14	D-15	D-16	D-17	D-18	D-19	
小売業												
来客用駐車収容台数	従業者規模別						年間販売額階級別					
	4人以下		5~29人		30~49人		50人以上			200万円未満		
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	C	
121	131	141	151	161	171	181	191	201	211	221	231	

注1) 26年メッシュの「来客用駐車場収容台数」は、集計対象外

注2) 斜線（実線）の項目は、全メッシュ非公表

D-20	D-21	D-22	D-23	D-24	D-25	D-26	D-27	D-28	D-29	D-30	D-31
小 売 業											
年 間 販 売 額 階 級 別									売 場 面 積 規 模 別		
200万円 ～2,000万円未満			2,000万円 ～1億円未満			1億円以上			20㎡未満		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
241	251	261	271	281	291	301	311	321	331	341	351

D-32	D-33	D-34	D-35	D-36	D-37	D-38	D-39	D-40	D-41	D-42	D-43
小 売 業											
売 場 面 積 規 模 別											
20㎡～50㎡未満			50㎡～500㎡未満			500㎡ ～1,500㎡未満			1,500㎡ ～3,000㎡未満		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
361	371	381	391	401	411	421	431	441	451	461	471

D-44	D-45	D-46	D-47	D-48	D-49	D-50	D-51	D-52	D-53	D-54	D-55
小 売 業											
売 場 面 積 規 模 別			事 業 所 開 設 年 代						業 種 別		
3,000㎡以上			昭和59年 以前	昭和60 ～平成 6年	7～ 16年	17～ 23年	24～ 26年	不詳	買 回 品		
A	B	C	A	A	A	A	A	A	A	B	C
481	491	501	511	521	531	541	551	561	571	581	591

注) 事業所開設年代区分; 19年とは全く異なっている。

D-56	D-57	D-58	D-59	D-60	D-61	D-62	D-63	D-64
小 売 業								
業 種 別								
最 寄 品			各 種 商 品 小 売 業			そ の 他		
A	B	C	A	B	C	A	B	C
601	611	621	631	641	651	661	671	681

② 1kmメッシュ産業別表（1,130バイト）

A：事業所数 B：年間販売額（百万円） C：売場面積（百㎡）
 ※全国メッシュの小売業計のみこれまでと同じ万円、㎡単位

S	統計年	表区分	地域区分	メッシュコード	メッシュレベル	当該メッシュにかかると道府県市区町村コード	測地系区分	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6
								中分類（56, 57, 58, 59, 60, 61）計 （小売業計）			56 各種商品小売業		
(1)	(2)	(2)	(2)	(9)	(1)	(5)×6	(3)	A	B	C	A	B	C
1	2	4	6	8	17	18	48	51	61	71	81	91	101

（下段の数字は、各項目の左端の位置を表示）

D-7	D-8	D-9	D-10	D-11	D-12	D-13	D-14	D-15	D-16	D-17	D-18
57 織物・衣服・身の回り品小売業			58 飲食料品小売業			59 機械器具小売業			60 その他小売業		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
111	121	131	141	151	161	171	181	191	201	211	221

D-19	D-20	D-21	D-22	D-23	D-24	D-25	D-26	D-27	D-28	D-29	D-30
61 無店舗小売業			561 百貨店、総合スーパー			569 その他の各種商品小売業（従業者が常時50人未満のもの）			571 呉服・服地・寝具小売業		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
231	241	251	261	271	281	291	301	311	321	331	341

D-31	D-32	D-33	D-34	D-35	D-36	D-37	D-38	D-39	D-40	D-41	D-42
572 男子服小売業			573 婦人・子供服小売業			574 靴・履物小売業			579 その他の織物・衣服・身の回り品小売業		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
351	361	371	381	391	401	411	421	431	441	451	461

注）斜線の項目は、全メッシュ非公表

D-43	D-44	D-45	D-46	D-47	D-48	D-49	D-50	D-51	D-52	D-53	D-54
581 各種食料品小売業			582 野菜・果実小売業			583 食肉小売業			584 鮮魚小売業		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
471	481	491	501	511	521	531	541	551	561	571	581

D-55	D-56	D-57	D-58	D-59	D-60	D-61	D-62	D-63	D-64	D-65	D-66
585 酒小売業			586 菓子・パン小売業			589 その他の飲食料品 小売業			591 自動車小売業		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
591	601	611	621	631	641	651	661	671	681	691	701

D-67	D-68	D-69	D-70	D-71	D-72	D-73	D-74	D-75	D-76	D-77	D-78
592 自転車小売業			593 機械器具小売業 (自動車、自転車を除く)			601 家具・建具・畳小売業			602 じゅう器小売業		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
711	721	731	741	751	761	771	781	791	801	811	821

D-79	D-80	D-81	D-82	D-83	D-84	D-85	D-86	D-87	D-88	D-89	D-90
603 医薬品・化粧品 小売業			604 農耕用品小売業			605 燃料小売業			606 書籍・文房具小売業		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
831	841	851	861	871	881	891	901	911	921	931	941

D-91	D-92	D-93	D-94	D-95	D-96	D-97	D-98	D-99	D-100	D-101	D-102
607 スポーツ用品・ がん具・娯楽用品・ 楽器小売業			608 写真機・時計・眼鏡 小売業			609 他に分類されない 小売業			611 通信販売・訪問販売 小売業		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
951	961	971	981	991	1001	1011	1021	1031	1041	1051	1061

D-103	D-104	D-105	D-106	D-107	D-108
612 自動販売機による 小売業			613 その他の無店舗 小売業		
A	B	C	A	B	C
1071	1081	1091	1101	1111	1121

③ 1kmメッシュ業態別表（980バイト）

A：事業所数　　B：年間販売額（百万円）　　C：売場面積（百㎡）
※全国メッシュの小売業計のみこれまでと同じ万円、㎡単位

S	統計年	表区分	地域区分	メッシュコード	メッシュレベル	当該メッシュにかかると道府県市区町村コード	測地系区分	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6			
								業態別計 (小売業計)			百貨店					
								A	B	C	A	B	C			
(1)	(2)	(2)	(2)	(9)	(1)	(5)×6	(3)	51	61	71	81	91	101			

(下段の数字は、各項目の左端の位置を表示)

注) 斜線の項目は、全メッシュ非公表

D-7	D-8	D-9	D-10	D-11	D-12	D-13	D-14	D-15	D-16	D-17	D-18
大型百貨店			その他の百貨店			総合スーパー			大型総合スーパー		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
111	121	131	141	151	161	171	181	191	201	211	221

D-19	D-20	D-21	D-22	D-23	D-24	D-25	D-26	D-27	D-28	D-29	D-30
中型総合スーパー			専門スーパー			衣料品スーパー			食料品スーパー		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
231	241	251	261	271	281	291	301	311	321	331	341

D-31	D-32	D-33	D-34	D-35	D-36	D-37	D-38	D-39	D-40	D-41	D-42
住関連スーパー			うちホームセンター			コンビニエンス・ストア			うち終日営業店		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
351	361	371	381	391	401	411	421	431	441	451	461

D-43	D-44	D-45	D-46	D-47	D-48	D-49	D-50	D-51	D-52	D-53	D-54
広義ドラッグストア			うちドラッグストア			その他のスーパー			うち各種商品取扱店		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
471	481	491	501	511	521	531	541	551	561	571	581

D-55	D-56	D-57	D-58	D-59	D-60	D-61	D-62	D-63	D-64	D-65	D-66
専 門 店			衣料品専門店			食料品専門店			住関連専門店		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
591	601	611	621	631	641	651	661	671	681	691	701

D-67	D-68	D-69	D-70	D-71	D-72	D-73	D-74	D-75	D-76	D-77	D-78
家電大型専門店			中心店			衣料品中心店			食料品中心店		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
711	721	731	741	751	761	771	781	791	801	811	821

D-79	D-80	D-81	D-82	D-83	D-84	D-85	D-86	D-87	D-88	D-89	D-90
住関連中心店			その他の小売店			うち各種商品取扱店			無店舗販売		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
831	841	851	861	871	881	891	901	911	921	931	941

D-91	D-92	D-93
うち通信・カタログ販売、インターネット販売		
A	B	C
951	961	971

④500mメッシュ集計表（810バイト）

A：事業所数 B：年間販売額（千万円） C：売場面積（千m²）

S	統計年	表区分	地域区分	メッシュコード	メッシュレベル	当該メッシュにかかると市区町村コード	測地系区分	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6	D-7
								小 売 業 計					56 各種商品小売業	
								事業所数	従業者数	年間販売額	売場面積	来駐収容客車台数	A	B
(1)	(2)	(2)	(2)	(9)	(1)	(5)×6	(3)	51	61	71	81	91	101	111

（下段の数字は、各項目の左端の位置を表示）

注）26年メッシュの「来客用駐車場収容台数」は、集計対象外

D-8	D-9	D-10	D-11	D-12	D-13	D-14	D-15	D-16	D-17	D-18	D-19
57 織物・衣服・身の回り品小売業		58 飲食料品小売業		59 機械器具小売業		60 その他小売業		61 無店舗小売業		従業者規模別	
										4人以下	5～29人
A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	A
121	131	141	151	161	171	181	191	201	211	221	231

D-20	D-21	D-22	D-23	D-24	D-25	D-26	D-27	D-28	D-29	D-30	D-31
従業者規模別		年間販売額級別				売場面積規模別					
30～49人	50人以上	200万円未満	200万円～2,000万円未満	2,000万円～1億円未満	1億円以上	20m ² 未満	20m ² ～50m ² 未満	50m ² ～500m ² 未満	500m ² ～1,500m ² 未満	1,500m ² ～3,000m ² 未満	3,000m ² 以上
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
241	251	261	271	281	291	301	311	321	331	341	351

D-32	D-33	D-34	D-35	D-36	D-37	D-38	D-39	D-40	D-41	D-42	D-43
業 種 別											
買回品			最寄品			各種商品小売業			その他		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
361	371	381	391	401	411	421	431	441	451	461	471

注）斜線（実線）の項目は、全メッシュ非公表

D-44	D-45	D-46	D-47	D-48	D-49	D-50	D-51	D-52	D-53	D-54	D-55
業 態 別											
百貨店			総合スーパー			専門スーパー			コンビニエンス・ストア		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
481	491	501	511	521	531	541	551	561	571	581	591

D-56	D-57	D-58	D-59	D-60	D-61	D-62	D-63	D-64	D-65	D-66	D-67
業 態 別											
広義ドラッグストア			その他のスーパー			専門店			家電大型専門店		
A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
601	611	621	631	641	651	661	671	681	691	701	711

D-68	D-69	D-70	D-71	D-72	D-73	D-74	D-75	D-76
業 態 別								
中心店			その他の小売店			無店舗販売		
A	B	C	A	B	C	A	B	C
721	731	741	751	761	771	781	791	801

2) 県別分割提供

各表・各県ごとに1ファイルになっています。

ファイルは、8頁のフォーマット概略（18～47カラムは6組とも県・市区町村間に縦罫あり）の縦罫ごとに半角カンマ（,）で区切ったCSVファイルです。

〔参考1〕メッシュの画定方法及びメッシュコードのつけ方

地域メッシュの統一的な作成方法等については、昭和48年に行政管理庁（現総務省）によって告示され（「統計に用いる標準地域メッシュおよび標準地域メッシュ・コード」昭和48年7月12日行政管理庁告示第143号）、昭和51年1月日本工業規格にコード「JIS C 6304」として制定され、その後昭和62年3月に1日に「JIS X 0410」に移行された。

1. メッシュの画定方法

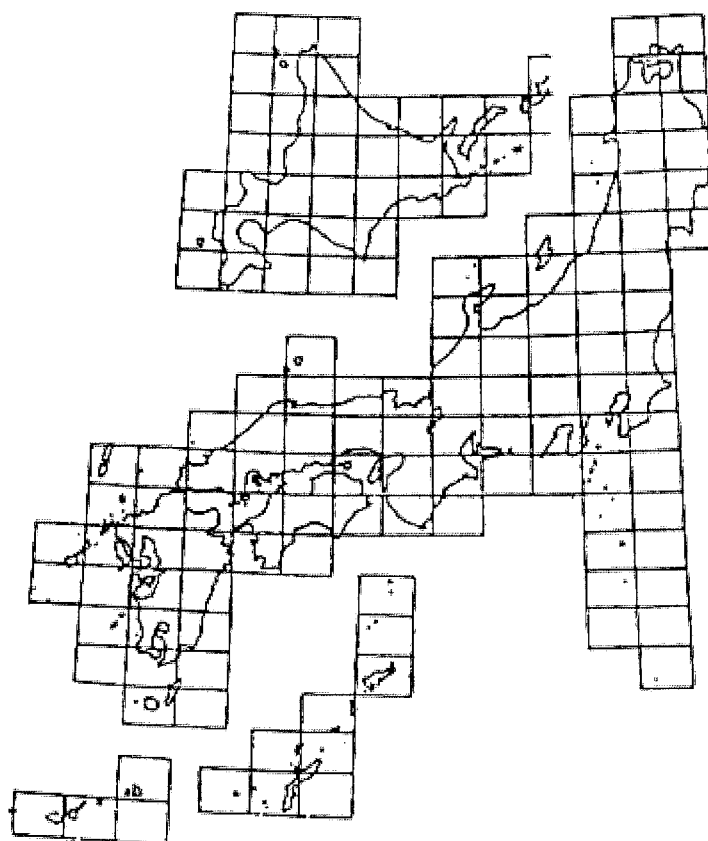
統計に用いられる標準地域メッシュには、基準地域メッシュとこれをもとにした分割地域メッシュ、統合地域メッシュがあるが、ここでは「基準地域メッシュ」と分割メッシュのうちの「2分の1地域メッシュ」について述べる。

(1) 基準地域メッシュ（1kmメッシュ）

基準地域メッシュは、まず、全国の地域を緯度を40分間隔、経度を1度間隔に区分した第1次地域区画を作り、第1次地域区画を経線方向及び緯線方向に8等分して第2次地域区画を作る。

さらに第2次地域区画を経線方向及び緯線方向に10等分したものが「基準地域メッシュ」（第3次地域区画）である。

図1 第1次地域区画



第1次地域区画は、20万分の1地勢図（国土地理院発行）の1図葉の区画に相当し、1辺が約80kmの方形の地域である。

第2次地域区画は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の1図葉の区画に相当し、1辺が約10kmの方形の地域である。

第3次地域区画（基準地域メッシュ）は、1辺がほぼ1kmの方形の地域で、一般的に1kmメッシュと呼ばれている。

(2) 2分の1地域メッシュ（500mメッシュ）

基準地域メッシュを分割したものが分割地域メッシュで、商業統計で使われているのは、基準地域メッシュを経線方向及び緯線方向に2等分した「2分の1地域メッシュ」である。

1辺が約500mとなることから500mメッシュとも呼ばれる。

2. メッシュコードのつけ方

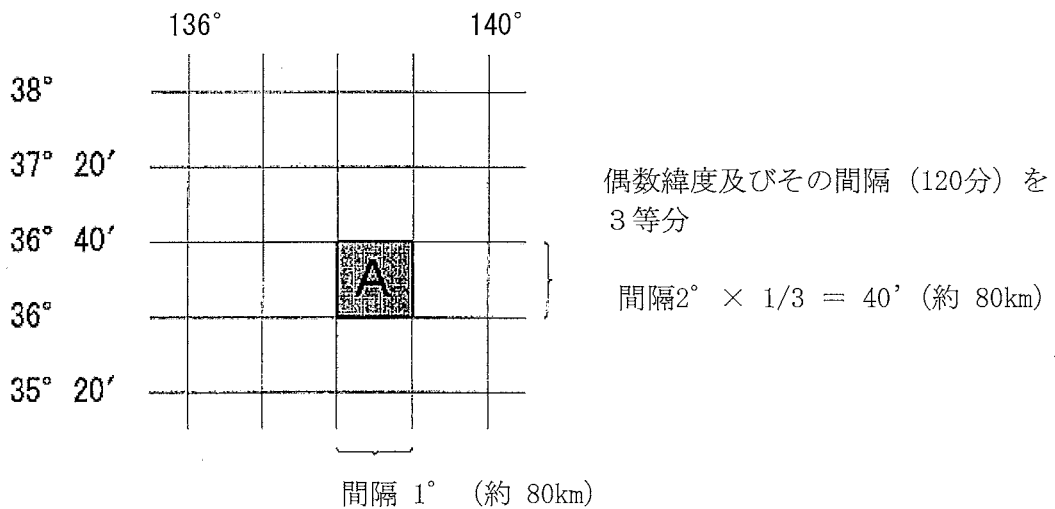
(1) 基準地域メッシュ（1kmメッシュ）のコード

基準地域メッシュのコードは、第1次地域区画、第2次地域区画及び第3次地域区画を示す数字をこの順に組み合わせた8桁の数字で表わされ、各区画のコードのつけ方は、次のとおりである。

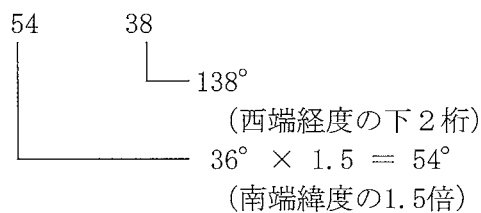
[第1次地域区画のコードのつけ方]

第1次地域区画のコードは、第1次地域区画の南端緯度を1.5倍した数字と西端経度から100を引いた数字を順に組み合わせた4桁の数字で表わされる。

図2 第1次地域区画のコード番号



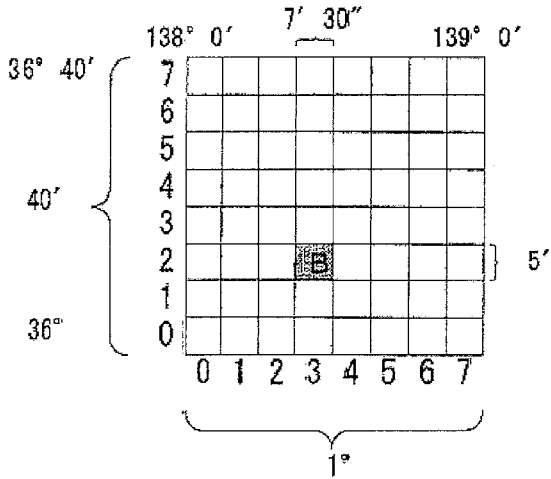
例えばAのメッシュコードは、「5438」となる。



[第2次地域区画のコードのつけ方]

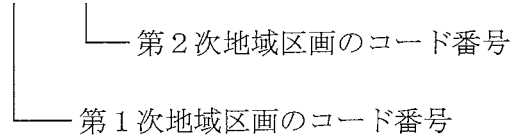
第2次地域区画のコードは、第1次地域区画の縦、横を8等分した区画に経線（縦）方向については南から、緯線（横）方向については西からそれぞれ0～7までの数字をつけ、縦方向、横方向の順に組合わせた2桁の数字で表わされる。

図3 第2次地域区画のコード番号



第2次地域区画は第1次地域区画を縦、横に8分割したもので、国土地理院2万5千分の1地形図の1枚に当る。大きさは、5'×7'30"で約10km×10kmである。

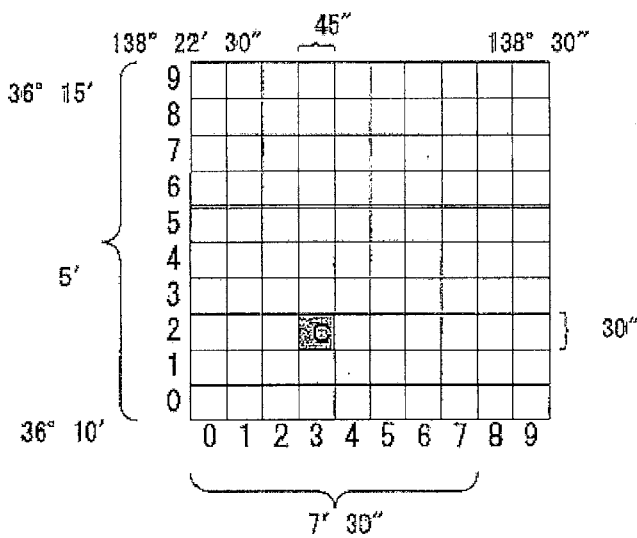
例えばBのメッシュコードは、
「543823」となる。
5438-23



[第3次地域区画のコードのつけ方]

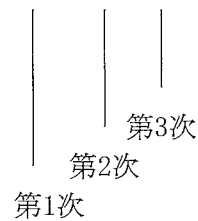
第3次地域区画のコードは、第2次地域区画の縦、横を10等分した区画に経線（縦）方向については南から、緯線（横）方向については西からそれぞれ0～9までの数字をつけ、縦方向、横方向の順に組合わせた2桁の数字で表わされる。

図4 第3次地域区画のコード番号



第3次地域区画（基準地域メッシュ）は、第2次地域区画を縦、横に10分割したもので、大きさは30"×45"で約1km×1kmである。

例えばCのメッシュコードは、
「54382323」となる。
5438-23-23

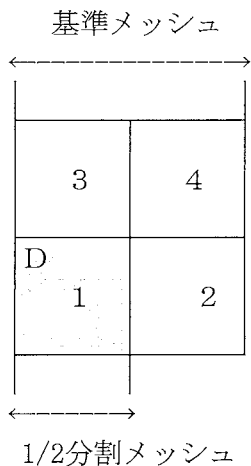


この8桁コードが、基準地域メッシュ（1kmメッシュ）コードとして一般に利用されている。

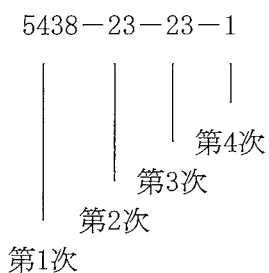
(2) 2分の1地域メッシュ (500mメッシュ) のコード

2分の1地域メッシュのコードは、基準地域メッシュを経線方向及び緯線方向に2等分して得られる4個の区画に南西側、南東側、北西側、北東側の順に1～4の数字をつけ、これを基準地域メッシュ (1kmメッシュ) コードの後に加え、9桁の数字で表わされる。

図5 2分の1地域メッシュのコード



例えばD (左下) のメッシュコードは、「543823231」となる。



【参考2】業態分類の定義

区分	セルフ方式(注1)	取扱商品等(注2)	売場面積	営業時間	備考
1. 百貨店	×	産業分類「561百貨店,総合スーパー」に格付けされた事業所	3000㎡以上(都の特別区及び政令指定都市は6000㎡以上) 3000㎡未満(都の特別区及び政令指定都市は6000㎡未満)		産業分類「561百貨店,総合スーパー」とは、衣、食、他(=住)にわたる各種商品を小売し、そのいずれも小売販売額の10%以上70%未満の範囲内にある事業所で、従業者が50人以上の事業所をいう。
(1) 大型百貨店					
(2) その他の百貨店					
2. 総合スーパー	○		3000㎡以上(都の特別区及び政令指定都市は6000㎡以上) 3000㎡未満(都の特別区及び政令指定都市は6000㎡未満)		
(1) 大型総合スーパー					
(2) 中型総合スーパー					
3. 専門スーパー	○	衣が70%以上 食が70%以上 住が70%以上 住関連スーパーのうち「60211 金物」+「60221 荒物」+「60421 種・種苗」が0%を超え70%未満	250㎡以上		
(1) 衣料品スーパー					
(2) 食料品スーパー					
(3) 住関連スーパー うちホームセンター(注4)					
4. コンビニエンスストア	○	飲食料品を扱っていること	30㎡以上250㎡未満	14時間以上	「飲食料品」とは、商品分類番号の上位2桁が58のものを用いる。産業分類「5891 コンビニエンスストア(飲食料品を中心とするものに限る)」以外も含む。
うち終日営業店				終日営業	
5. 広義ドラッグストア	○	以下のいずれかに該当する事業所 ・産業分類「6031ドラッグストア」に格付けされた事業所 ・「603 医薬品・化粧品」を小売販売額全体の25%以上取扱い、かつ、「60321 一般医薬品」を扱っている事業所			産業分類「6031ドラッグストア」とは、産業分類「603医薬品・化粧品小売業」に格付けされた事業所のうち、セルフサービス方式を採用しており、「60321 一般用医薬品」を扱っている事業所をいう。
うちドラッグストア		産業分類「6031ドラッグストア」に格付けされた事業所			
6. その他のスーパー	○	2, 3, 4, 5以外のセルフ店			
7. 専門店	×	571,572,573,574,5791,5792,5793,5799のいずれかが90%以上 582,583,584,585,586,5892,5893,5894,5895,5896,5897,5898,5899のいずれかが90%以上 5911,5912,5913,5914,592,593,601,602,6032,6033,6034,604,605,606,607,6081,6082,6092,6093,6094,6095,6096,6097,6098,6099のいずれかが90%以上			
(1) 衣料品専門店					
(2) 食料品専門店					
(3) 住関連専門店					
8. 家電大型専門店	×	産業分類「5931機械器具小売業」又は「5932電気事務機械器具小売業」に格付けされた事業所	500㎡以上		
9. 中心店	×	衣が50%以上(1, 7, 8, 11に該当する小売店を除く) 食が50%以上(1, 7, 8, 11に該当する小売店を除く) 住が50%以上(1, 7, 8, 11に該当する小売店を除く)			
(1) 衣料品中心店					
(2) 食料品中心店					
(3) 住関連中心店					
10. その他の小売店	×	1, 7, 8, 9, 11以外の非セルフ店			
11. 無店舗販売(注5)	×	訪問販売+通信・カタログ販売+インターネット販売+自動販売機による販売が100% 無店舗販売のうち、通信・カタログ販売+インターネット販売が80%以上	0㎡		

(注1) 「セルフ方式」とは、売場面積の50%以上について、セルフサービス方式を採用している事業所をいう。

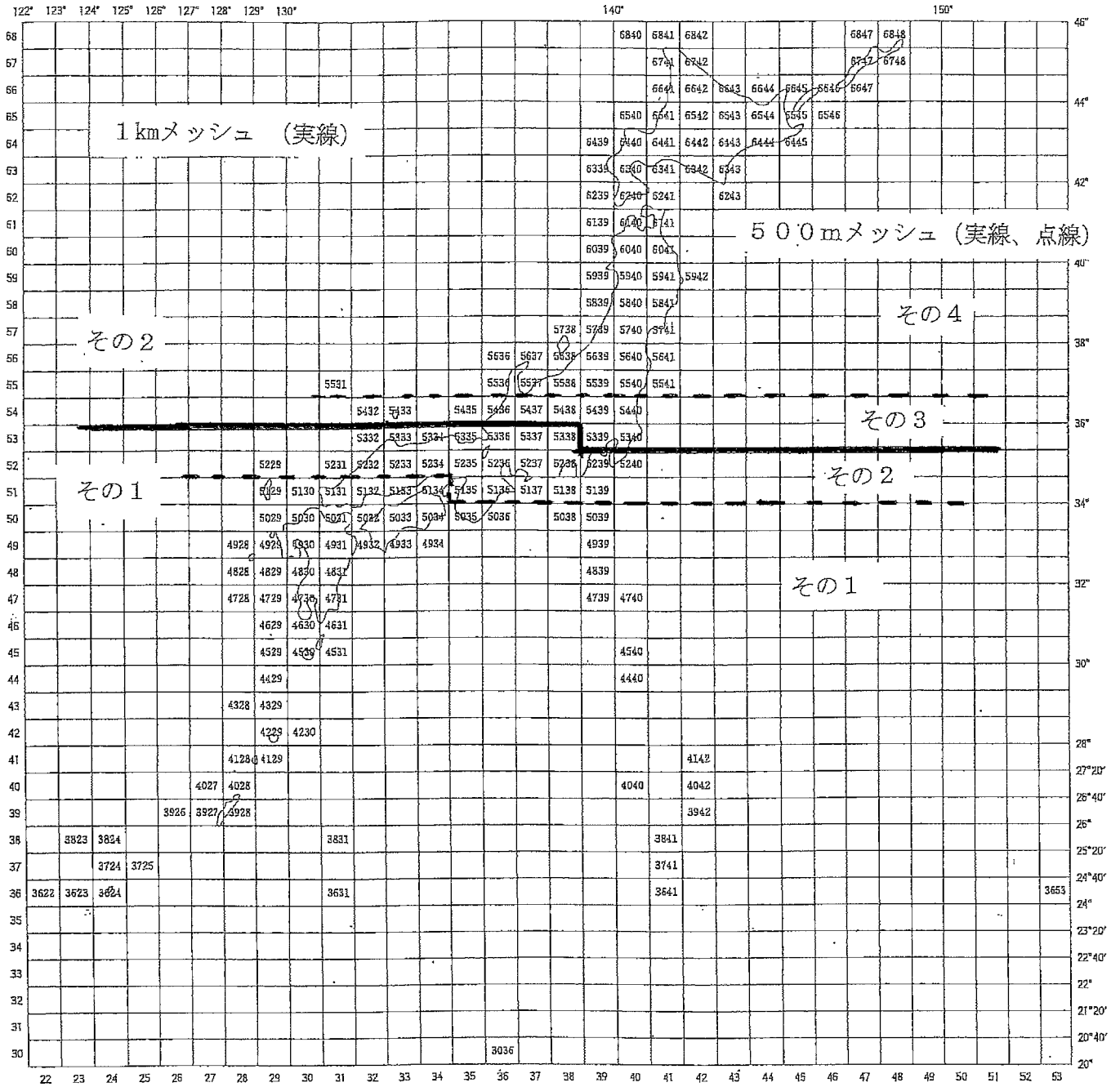
(注2) 「取扱商品等」欄の3桁及び4桁の番号は、商品分類番号である。また、「衣」、「食」、「住」とは、商品分類番号の上位2桁で衣(57)、食(58)、住(59, 60)に分類して集計したものをいう。

(注3) 「各種商品取扱店」とは、「569その他の各種商品小売業」に格付けされ、かつ、コンビニエンスストア及び広義のドラッグストアの定義に該当しない事業所であって、「6. その他のスーパー」はセルフサービス方式を採用している事業所、「10. その他の小売店」はセルフサービス方式を採用していない事業所をいう。

(注4) 業態分類「うちホームセンター」に分類される条件と、産業分類「6091ホームセンター」に格付けられる条件(以下に該当する事業所)は同一ではない。
・セルフサービス方式を採用し、売場面積500㎡以上で、商品分類「60211金物」、「60221荒物」及び「60421苗・種子」のいずれかを扱っている事業所

(注5) 産業分類「61無店舗小売業」とは、販売形態のうち店頭販売の割合が0%及び売場面積が0㎡の事業所をいい、業態分類「11. 無店舗販売」の事業所数等とは一致しない。

[参考3] 全国メッシュのファイル分割地域区分図



◎ 1 kmメッシュ3表・全国メッシュの地域区分
 その1 (1次メッシュコード 5338 (甲府) 以下)
 その2 (同 5339 (東京) 以上)

◎ 500mメッシュ集計表・全国メッシュの地域区分
 その1 (1次メッシュコード 5134 (徳島) 以下)
 その2 (同 5135 (和歌山) ~5338 (甲府))
 その3 (同 5339 (東京) ~5440 (水戸))
 その4 (同 5536 (七尾) 以上)